

教職課程履修者 履修カルテ

育英大学

教育学部 教育学科
英語教育専攻

学籍番号 _____

氏名 _____

【記入日・担当者確認印】

1年次		2年次		3年次		4年次	
記入日	確認印	記入日	確認印	記入日	確認印	記入日	確認印
/		/		/		/	

履修カルテとは

履修カルテは、

- ① 4年間を通しての学びの確認（教員免許状を取得するための確認）
- ② 自分の強み、弱みの確認と教員になるために必要な資質・能力に関する自己評価
- ③ 自分の弱みから課題を確認し、目標を立て、課題を解決するために行うものです。

カルテの中身

履修カルテ① … 科目の履修状況（中学校・高等学校）

履修カルテ② … 実習の記録（中学校・高等学校）

履修カルテ③ … 自己評価シート（中学校・高等学校）

自分を見直す機会になりますので、真剣に自己評価に取り組んでください。

教員を目指す動機・きっかけ

--

理想の教員像・自分が目指す教員

--

履修カルテ①（中学校・高等学校）

科目の履修状況

必修 … ○

選択 … △

(1) 教科及び教科の指導法に関する科目

授業科目名	担当教員名	免許必修		修得年度	単位	評価	評価できる点と努力を要する点
		中	高				
英語学概論 I		○	○				
英語学概論 II		○	○				
第二言語習得論		○	○				
英語学演習 I		△	△				
英語学演習 II		△	△				
英語文学概論 I		○	○				
英語文学概論 II		○	○				
英語文学演習 I		△	△				
英語文学演習 II		△	△				
Reading & Vocabulary I		○	○				
Reading & Vocabulary II		○	○				
Listening & Speaking I		○	○				
Listening & Speaking II		○	○				
Writing I		○	○				
Writing II		○	○				
Skills-Integrated English Communication I		○	○				
Skills-Integrated English Communication II		○	○				
異文化理解		○	○				
中等教科教育法 I（英語）		○	○				

中等教科教育法Ⅱ（英語）		○	○				
中等教科教育法Ⅲ（英語）		○	○				
中等教科教育法Ⅳ（英語）		○	○				
合計単位							

(2) 大学が独自に設定する科目

授業科目名	担当教員名	免許必修		修得年度	単位	評価	評価できる点と努力を要する点
		中	高				
介護等体験活動		○					

(3) 66条の6に定める科目

授業科目名	担当教員名	免許必修		修得年度	単位	評価	評価できる点と努力を要する点
		中	高				
社会と憲法		○	○				
健康と運動		○	○				
英語Ⅰ（基礎）		○	○				
英語Ⅱ（応用）		○	○				
情報処理法		○	○				
情報活用法		○	○				
合計単位							

(4) 教育の基礎的理解に関する科目等

授業科目名	担当教員名	免許必修		修得年度	単位	評価	評価できる点と努力を要する点
		中	高				
教職概論（中・高）		○	○				
教育学概論（中・高）		○	○				
教育行政学 （幼・小・中・高）		○	○				
学校・学級経営		△	△				
教育心理学		○	○				

特別支援教育論		○	○				
教育課程論（中・高）		○	○				
道徳の指導法（小・中）		○	—				
総合的な学習（探究）の時間の指導法 （小・中・高）		○	○				
特別活動の指導法 （小・中・高）		○	○				
教育方法論（ICT活用 を含む）		○	○				
生徒・進路指導の理論と方 法（小・中・高）		○	○				
教育相談の理論と方 法（幼・小・中・高）		○	○				
中等教育実習事前事後指導		○	○				
初等中等教育実習（小・中）		○	—				
中等教育実習（中・高）		○	○				
初等中等学校体験活動A		○	—				
初等中等学校体験活動B		○	—				
教職実践演習（中・高）		○	○				
合計単位							

(5) 卒業必修科目（教職科目除く）

授業科目名	担当教員名	修得年度	単位	評価	評価できる点と努力を要する点
統計分析法					
問題解決法					
創造思考法					
日本語Ⅰ（読解、分析）					
日本語Ⅱ（作文、論文）					
日本語Ⅲ（発表、討論）					
自己管理と社会規範					
チームワークとリーダーシップ					
地域活動と社会貢献					
他者理解と信頼関係					
基礎ゼミⅠ					
基礎ゼミⅡ					
総合ゼミⅠ					
総合ゼミⅡ					
キャリアプランニングⅠ					
キャリアプランニングⅡ					
人間形成論					
心理学概論					
対人関係論					
道徳教育論					
教育学研究法					

教育学研究法Ⅰ					
教育学研究法Ⅱ					
卒業研究Ⅰ					
卒業研究Ⅱ					
合計単位					

授業外での活動

(部活動、ボランティア活動、地域の子どもとふれ合う行事などへの参加の取り組みと感想)

年次	内容と感想など	
1年次	内容	
	感想	
2年次	内容	
	感想	
3年次	内容	
	感想	
4年次	内容	
	感想	

履修カルテ②（中学校・高等学校）

実習科目の履修・取組状況

【初等中等学校体験活動A】

実習日程	(日間)
実習校名	
体験実習での学び	
課題・反省	

【初等中等学校体験活動B】

実習日程	(日間)
実習校名	
教育実習での学び	巡回指導者名：
課題・反省	

【初等中等教育実習(小・中)】

実習日程	(日間)
実習校名	
教育実習での学び	巡回指導者名：
課題・反省	

【中等教育実習(中・高)】

実習日程	(日間)
実習校名	
教育実習での学び	巡回指導者名：
課題・反省	

【介護等体験活動】

実習日程	(日間)
実習校名	
教育実習での学び	巡回指導者名：
課題・反省	

履修カルテ③（中学校・高等学校）

自己評価シート

【自己評価基準】

- 5 できている
 4 どちらかといえばできている
 3 どちらでもない
 2 どちらかといえばできていない
 1 できていない

1. 必要な資質能力についての自己評価

必要な資質能力の指標		振り返りの例 (科目例(「」は授業名)、内容、日常生活の振り返り)	自己評価(上記の5段階で記入)				
教員に求める資質	項目		1年	2年	3年	4年	
社会人としての常識と優れた識見を有する教員	①広い視野に立って社会の動向を見据えられる。 ②時代を切り拓いていこうとする意欲がある。 ③広く豊かな教養が身についている。 ④社会人としての手本となる言動がとれる。 ⑤高い倫理観と規範意識を持っている。 ⑥自分の仕事に責任や誇りを持って取り組める。	パソコン等を活用して、社会の情勢、最新の情報を検索し、正しい情報を理解できる。	「情報処理法」「情報活用法」、パソコンを利用した時など				
		課題をを解決するために自ら思考を働かせ、課題を解決することができる。	「問題解決法」、ディスカッションの授業など				
		自分の考えに対して、情報や他人の意見を踏まえ、新たな考えを生み出すことができる。	「創造思考法」、ディスカッションの授業など				
		広い教養が身についている。	66条の6科目・卒業業必修全般、教員採用試験対策の勉強など				
		社会人としての手本となる行動が取れる。	挨拶、言葉遣い、服装など				
		社会人としての行動、模範的な態度が取れる。	「自己管理と社会規範」「地域活動と社会貢献」、ボランティアなど				
		自分の仕事(教育者)を理解している。	「教育学概論(中・高)」「教職概論(中・高)」、教育実習など				
		仕事に責任や誇りを持って取り組める。	「キャリアプランニングⅠ・Ⅱ」、教育実習など				
幅広い専門性を有する教員	①教科等に関する専門的知識や技能を有している。 ②子どもたちに「生きる力」を身に付けさせることができる。 ③周囲の助言に耳を傾けることができる。 ④専門性を磨くために日々努力し続けることができる。 ⑤子どもの発達段階に対応できる指導力を持っている。	学習指導要領、教育課程の編成や評価方法を理解し、教育方法・技術を有している。	「教育課程論(中・高)」、「教育方法論(ICT活用を含む)」など				
		学習指導要領に基づく英語教育の教育内容・方法に関して、しっかりした専門知識・技能を有している。	「中等教科教育法Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ、Ⅳ(英語)」、指導案づくりなど				
		英語学に関して、しっかりした専門知識を有している。	「英語学概論Ⅰ・Ⅱ」「第二言語習得論」など				
		英語文学に関して、しっかりした専門知識を有している。	「英語文学概論Ⅰ・Ⅱ」など				
		英語コミュニケーションに関して、しっかりした専門知識・技能を有している。	「Listening & SpeakingⅠ、Ⅱ」「Skills-Integrated English CommunicationⅠ、Ⅱ」など				
		道徳の教育内容・指導法に関して、しっかりした専門知識・技能を有している。	「道徳教育論」「道徳の指導法(小・中)」、指導案づくりなど				
		集団活動を通して、生徒一人ひとりの個性や実践的態度を育てる指導力を身につけている。	「特別活動の指導法(小・中・高)」、教育実習など				
		教育効果の高い学習指導や生徒指導の実践的指導力を身につけている。	「教育方法論(ICT活用を含む)」、教育実習など				
		生徒一人ひとりを尊重し、個性を引き出す指導力を身につけている。	「生徒・進路指導の理論と方法(小・中・高)」、教育実習など				
		教育相談のための専門的知識や技能を十分に有し、これを役立てようとしている。	「教育相談の理論と方法(幼・小・中・高)」、教育実習など				
		専門性を磨くために日々の授業を積極的に受けている。	日々の授業の取り組み状況など				
		授業における予習・復習を行い、日々勉学に努めている。	各科目の予習・復習など				
生徒の発達段階を理解し、発達段階に対応した指導力を身につけている。	「教育心理学」など						
豊かな人間性とコミュニケーション能力を有する教員	①子どもたちに対する教育的愛情と指導への情熱を持っている。 ②優れたコミュニケーション能力を持っている。 ③子どもたちの可能性を伸ばすことができる。 ④心身ともに健康である。 ⑤組織の一員として互いに高め合い、支え合うことができる。	教育的愛情と指導への情熱を持っている。	「初等中学校体験活動A、B」、教育実習、ボランティアなど				
		身近な人とのコミュニケーション能力が身についている。	日々の親子・交友関係、ディスカッションの授業、部活動など				
		初めて会う人とのコミュニケーション能力が身についている。	ボランティア、地域活動など				
		生徒の個性を理解し、可能性を伸ばすことができる。	「初等中学校体験活動A、B」、教育実習、ボランティアなど				
		心身ともに健康である。	「健康と運動」、日々の食生活・ストレス発散など				
		組織の一員として互いに高め合い、支え合うことができる。	「チームワークとリーダーシップ」、部活動など				

2. 教職を目指す上での課題と考えている事項と課題に対する目標と今後の取り組み

教職を目指す上での課題		課題に対する目標と今後の取り組み	
学年	課題と考えている事項	学年	左記の課題に対する目標と今後の取り組み
1年次		2年次	
2年次		3年次	
3年次		4年次	
4年次		就職時 就職後	

3. 教員コメント欄

学年	コメント欄	確認者名
1年		
2年		
3年		
4年		